

今日のキーワード 「ジャクソンホール」会議 (米国)

米国地区連銀のひとつカンザスシティ地区連銀は毎年8月下旬に、ワイオミング州「ジャクソンホール」において、経済政策に関する国際シンポジウムを開催しています。世界各国から中央銀行総裁、政策担当者、学者などが参集し、世界経済や金融政策を巡る議論を交わすため、金融市場での注目度には高いものがあります。今年には「将来のための弾力性の高い金融政策の枠組みの設計」をテーマに、25日～27日に開かれました。

ポイント1

米国の「利上げの条件は整ってきた」

イエレン米連邦準備制度理事会 (FRB) 議長が利上げに前向きな発言

- 2年振りに「ジャクソンホール」会議に出席したイエレンFRB議長は、26日に「連邦準備制度の金融政策ツールキット (工具セット)」という主題で講演を行いました。
- そのなかで注目を集めたのは、「労働市場の堅調な展開や経済、物価に関する我々の見通しに照らせば、私はこの数カ月間で利上げの条件は整ってきたと信じている」との発言でした。

ポイント2

9月利上げの可能性が高まる

早期利上げに肯定的な委員が増加

- 7月の連邦公開市場委員会 (FOMC) 議事録までの慎重な姿勢に比べ、利上げに対して肯定的な発言といえます。
- しかも、その直後にフィッシャーFRB副議長が、9月利上げの可能性を問われ、「イエレン議長の講演が、その問いに対する答えです」と返答したことから、早期利上げ観測が一段と強まりました。
- そのほか、カンザスシティ連銀のジョージ総裁、アトランタ連銀のロックハート総裁など、近い将来の利上げを示唆する地区連銀総裁も増えています。
- 以上から判断すると、雇用統計の内容にもよりますが、9月20日、21日開催予定の次回FOMCで利上げが実施される可能性は高まったと考えられます。



今後の展開

物価が安定しているため、今後の利上げペースは緩慢と見られます

- イエレンFRB議長の発言を受けた26日の米国金融・資本市場では、債券利回りが上昇する一方、ダウ平均株価は下落しました。他方、為替市場では米ドルが、円やユーロなど主要通貨に対して高くなりました。
- 米国の景気・雇用情勢から判断する限り、利上げが継続される可能性はあります。ただし、物価上昇率は低位で安定しており、利上げのペースは緩慢なものにとどまる見込みです。従って、株、債券とも今後は底堅さを取り戻すと予想されます。

ここもチェック!

2016年8月19日 「FOMC議事録」と金融政策 (米国)

2016年8月 8日 米国の雇用統計 (2016年7月)

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。